



アスペン中学生短期交換留学



10月10日から19日までの10日間、姉妹都市アスペン市から中学生9人、引率2人合わせて11人が、友好と交流の懸け橋として訪れました。滞在中は日本の伝統や文化を学んだり、各学校で交流を深めたり、思い出に残る貴重な体験ができたようです。言葉の壁や食べ物の違いに悩みながらも多くの友情を育んだアスペンの中学生たち。希望と夢を抱えながら占冠村を訪れ貴重な体験をしました。



行政の報告

平成25年9月26日開会の占冠村議会定例会で、7月30日に開会された占冠村議会臨時会以降の行政の動きについて報告しましたので概要をお知らせします。

★災害時行政情報伝達先進地視察

本村の災害は、台風や前線の停滞による大雨がもたらす水害が想定されますが、過去には地震や雪害を経験いたしました。こうした災害の被害を最小限にとどめるには住民への確かな情報を発信し、注意を喚起することが大切であります。

本村の状況を申し上げますと、緊急な情報提供は広報車により集落を巡回し周知をしていますが、気密性が高い最近の住宅では音声で各家庭に届かないといった状況が見受けられます。

村からの情報を確実に各家庭に伝え、緊急時には自動受信できる方法として防災無線や防災ラジオによる情報提供とインターネットを利用した双方向での情報提供などが考えられます。

今回、先進地として二セコ町が取り組んでいるラジオ放送を視察してまいりました。

防災ラジオの特色として、電波が届くところであれば家庭のラジオ、カーラジオ、携帯電話などによる受信が可能で、端末機を移動できることから機動性の面では大変優れた方式であります。

ラジオ放送局を維持管理するための経費が必要となりますが、二セコ町の場合は24時間放送のコミュニティラジオ放送のため、3人の職員を雇用しており、スタジオの経費を含めると大きな事業になっています。

村では、情報伝達の手段として防災や医療福祉、コミュニティ対策等と連動できないかを模索し、それぞれの特徴、必要経費、使いやすさなどを比較しながら、何が最善の方法であるか検討を進めてまいります。

平成25年度予算の補正

占冠村議会定例会（9月26日開会）で補正予算が議決されました。一般会計の中から主なものについてお知らせします。

◆村内小中学校のパソコンの更新	656万8千円
◆役場庁舎内のパソコンの更新	514万5千円
◆占冠村歯科診療所排水施設整備工事	250万円
◆中央団地A棟屋上防水改修工事	242万6千円
◆村道ホ口力幾寅線道路改修工事	240万円
◆国設占冠村中央スキー場の設備にかかる修繕費	358万円

ご存知ですか？ 「検 察 審 査 会」

【検察審査会ってなに？】

選挙権を持っている国民の中からくじで選ばれた11人の検察審査員が、一般の国民を代表して、検察官が被疑者を裁判にかけなかったこと（不起訴処分）についての善し悪しを審査することを主な仕事とするところです。

【審査はどんなとき？】

犯罪の被害にあった人や犯罪を告訴・告発した人から、検察官の不起訴処分を不服として検察審査会に申し立てがあったときに審査を始めます。

被害者からの申し立てがなくても、検察官が不起訴にした事件を職権で取り上げて審査することもあります。

【審査の方法は？】

検察審査会は、検察審査委員11人全員が出席し

たうえて、検察審査会議を開きます。そこでは、検察庁から取り寄せた事件の記録を調べたり、証人を呼んで事情を聞くなどし、審査します。

【これまでに審査した事件は？】

これまでに全国の検察審査会が審査した事件は水俣病事件や羽田沖日航機墜落事件、雪印集団食中毒事件など、16万件以上にのぼります。

【審査会のある場所は？】

検察審査会は全国に165カ所あり、地方裁判所と主な地方裁判所支部の中にあります。

■お問い合わせ

旭川検察審査会事務局

旭川市花咲町4丁目 旭川地方裁判所内

電話 0166-51-6290